

日々フラットに生活することを何よりも大切にしてほしいです。反対に、そうでなければ、博士論文を書き上げることは難しいと思います。せつかくなら楽しみながら執筆できる方法も見つけてみてください。ちなみに私の場合は、パソコンから離れ、真っ白なノートに手描きで論文の構想や分析のメモをすることが好きでした（これは今も実施しています）。

ずいぶんとお恥ずかしい話もしましたが、要するに、データ収集も研究計画も普段の生活も「無理をせず、メリハリをつけること」が何よりも大切なのかなと思います。最後に、この拙い文章が少しでも皆さんの研究生生活のヒントになれば幸いです。皆さまのご健闘を心よりお祈りしております。

## 第 15 回 名古屋大学社会学会大会・総会 プログラム

日 時 2015 年 7 月 23 日（木） 15 : 30～  
会 場 名古屋大学 文学部 講義棟 1 階 127 講義室

### 報告

1. 谷川 彩月 手段として選択される「有機農業」的手法と  
その意義
2. 甕 佳代子 女性の昇進を阻むもの～公務員のキャリア形成と  
意識改革
3. 伊藤 綾香 「共働」実践における対等性の模索  
—事業所「すずらん」の事例から—
4. 文 捷 中国人留学生の起業にみる社会的ネットワークと起業奨励政策
5. 後藤 悠里 後発性という観点からの障害者差別禁止法制定過程の考察  
—香港及び韓国の事例から—